



1. マーケット・レート

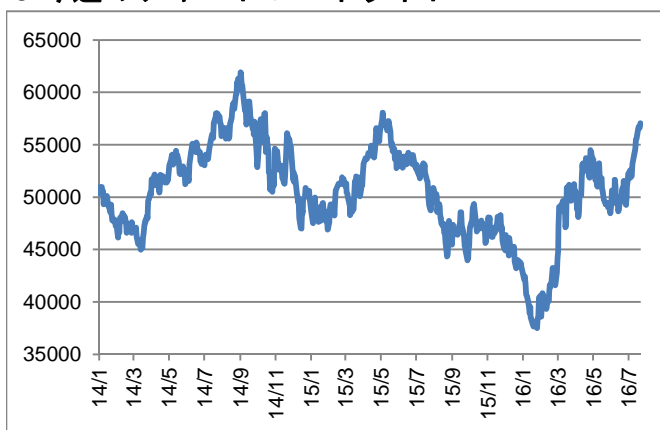
			7月18日	7月19日	7月20日	7月21日	7月22日	Net Chg
為替	USD/BRL	Spot	3.2530	3.2490	3.2600	3.2710	3.2560	-0.0150
	BRL/JPY	Spot	32.63	32.65	32.78	32.36	32.60	+0.24
	EUR/USD	Spot	1.1076	1.1019	1.1015	1.1026	1.0977	-0.0049
	USD/JPY	Spot	106.18	106.12	106.88	105.83	105.99	+0.16
金利	Brazil DI	6MTH(p.a.)	13.86	13.81	13.81	13.89	13.88	-0.0034
	Future	1Year(p.a.)	13.17	13.13	13.13	13.27	13.28	+0.0144
	On-shore	6MTH(p.a.)	2.205	2.218	2.140	2.260	2.324	+0.064
	USD	1Year(p.a.)	2.615	2.511	2.449	2.471	2.482	+0.011
株式	Bovespa指数		56,484.21	56,698.06	56,578.05	56,641.49	57,002.08	+360.59
CDS	CDS Brazil 5y		291.26	290.16	287.50	288.81	284.32	-4.49
商品	CRB指数		188.194	186.104	185.086	183.666	182.901	-0.765

* これらはインターバンク市場等におけるブラジル市場終了時のインデケーションです。実際のレート提示は弊社担当アカウント・オフィサーまでお問い合わせ下さい。

2. 週間市況、トピックス

- 財政改革への期待感からレアルは堅調に推移するも、伯中銀によるドル買い介入を受けて上値の重い展開。
- 今週のレアルは3.2820で寄り付いた。週初にはテメル暫定大統領の経済チームが200億レアルの歳出削減を推進すると表明したことや、欧米企業の好決算を受けてリスクオンムードとなると、レアルは週間高値となる3.2390を示現。その後、伯官房長官が今年の追加歳出削減は実施しないと発表したことや、S&Pによるトルコの格下げを受けて新興国通貨売りが強まるとレアルも反落。週間安値となる3.2960を示現した。しかし、伯企画相が財政収支目標達成のために予算凍結を決定したと公表したことを受けて引けにかけてレアルは急反発し、結局3.2560で越週。
- 伯中銀公表のアナリスト予想集計では、2016年の経済成長率予想が-3.30%から-3.25%に3週連続で上方修正され、2017年予想が+1.00%から+1.10%に上方修正された。2016年のインフレ率予想は7.26%に据え置かれたが、2017年予想は5.40%から5.30%に3週連続で下方修正された。2016年末の予想為替レートは3.40から3.39へ3週連続でレアル高方向に修正された。
- 20日に行われたゴールドフィン伯中銀総裁体制下で初めてのCOPOMでは予想通り8会合連続で政策金利が据え置かれた。声明では長期に亘って高い水準にあるインフレを懸念していることが示される一方で、産業界における対象の遊休施設がデフレを加速される可能性が指摘された。
- S&Pは20日、先週のクーデター未遂で政情不安が高まったことを理由にトルコの格付をBB+からBBに格下げし、見通しをネガティブとした。資金調達における外部依存度が高いトルコ経済への資本減少を招くとの見解を示した。格下げを受けてトルコリラは対ドルで過去最安値を更新した。同日、トルコのエルドリアン大統領は3か月間の非常事態宣言を発令すると表明した。
- 今週の伯中銀は毎日5億ドルのドル買いスワップ入札を実施、全額が落札された。伯中銀は来週月曜日も同額の入札を行うと発表している。

3. 今週のチャート&ハイライト



出所：Bloomberg

ボベスパ指数が昨年5月以来の高値を更新

市場ではトルコのクーデターによるリスクオフの動きと欧米企業の好決算を受けたリスクオンの動きが交錯したが、ブラジルではテメル暫定大統領と経済チームによるブラジル経済の立て直しに期待が高まっている。ボベスパ指数は19日までに10営業日連続で続伸し、2010年以降で最長となる連続上昇を記録した。商品価格の下落を受けて小反落するも、週末にかけて再び上昇に転じ、昨年5月以来で初めて57000ポイントを回復した。一方、レアルは伯中銀による断続的なドル買い介入により、上値を押さえられている。

当資料は一般的な情報提供のみを目的として作成されたものであり、特定のお客業のニーズ、財務状況又は投資対象に対応することを意図していません。また、当資料は、適用法令上許容される範囲内でのみ利用可能であり、当資料の頒布を制約する法令が存在する地域の方によって利用されることを意図していません。当資料内のいかなる情報又は意見も、預金、有価証券、デリバティブ取引その他の金融商品の売買、投資、保有などを勧誘又は推奨するものではありません。資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、当行はその正確性、適時性、適切性又は完全性を表明又は保証するものではなく、当行、その子会社又は関連会社は、お客様による当資料の利用等に関して生じうるいかなる損害についても責任を負いません。ご利用に関しては、すべて お客様御自身でご判断下さいますよう、宜しくご留意申し上げます。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料の内容は予告なしに変更することがあり、また、当行、その子会社又は関連会社は、当資料を更新する義務を負っていません。また、当資料は 著作物であり、著作権法により保護されています。当行の書面による許可なく複製又は第三者、個人顧客もしくは一般投資家への配布をすることはできません。



4. 来週の為替市場注目点

予想ドル・レアル相場レンジ：3.20－3.35

来週は伯経済チームが発表する景気浮揚策に注目が集まっている。同チームは19日の会議後に、具体的な内容を2週間以内に発表するとコメントしている。8月初旬までもつれる可能性はあるが、来週中に方向性が示されるようであれば、ブラジル経済への期待感が更に高まることになろう。但し、伯中銀は断続的にドル買い介入を行っており、レアルの上値は引き続き抑えられるだろう。国外では27日のFOMCと29日の米第2四半期速報値に注目が集まる。大部分の市場参加者はFOMCで政策金利が据え置かれると予想している。今回のFOMCは会合後の議長記者会見がないため、利上げ動向を判断しづらいとの声が多い。GDPは前回の1.1%から2.6%まで改善する予想となっている。レアルは方向性に乏しく、引き続き3.2台を中心としたレンジ相場を予想する。

5. 本日の主要経済指標

国	イベント	予想	実績	前回
米	マークイット米国製造業PMI	51.5	52.9	51.3

6. 来週発表される主要経済指標

国	日付	イベント	期間	予想	前回
ブラジル	7/25	FGV CPI IPC-S	Jul-22	--	0.41%
ブラジル	7/25	FGV消費者信頼感	Jul	--	71.3
ブラジル	7/25	登録雇用創出合計	Jun	-57250	-72615
独	7/25	IFO企業景況感指数	Jul	107.6	108.7
ブラジル	7/26	FIPE CPI-週次	Jul-23	--	0.85%
ブラジル	7/26	経常収支	Jun	--	\$1200m
米	7/26	消費者信頼感指数	Jul	95.5	98.0
米	7/26	新築住宅販売件数	Jun	556k	551k
ブラジル	7/27	融資残高	Jun	--	3145b
米	7/27	FOMC政策金利(上限)	Jul-27	0.5%	0.5%
ブラジル	7/28	FGVインフIGPM(前月比)	Jul	0.25%	1.69%
ブラジル	7/29	全国失業率	Jun	11.3%	11.2%
ブラジル	7/29	PPI 製造業(前月比)	Jun	--	0.58%
ブラジル	7/29	基礎的財政収支	Jun	--	-18.1b
米	7/29	GDP(年率/前期比)	2Q 速報	2.6%	1.1%

当資料は一般的な情報提供のみを目的として作成されたものであり、特定のお客様のニーズ、財務状況又は投資対象に対応することを意図しておりません。また、当資料は、適用法令上許容される範囲内でのみ利用可能であり、当資料の頒布を制約する法令が存在する地域の方によって利用されることを意図しておりません。当資料内のいかなる情報又は意見も、預金、有価証券、デリバティブ取引その他の金融商品の売買、投資、保有などを勧誘又は推奨するものではありません。資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、当行はその正確性、適時性、適切性又は完全性を表明又は保証するものではなく、当行、その子会社又は関連会社は、お客様による当資料の利用等に関して生じうるいかなる損害についても責任を負いません。ご利用に関しては、すべてお客様御自身でご判断下さいますよう、宜しくお願い申し上げます。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料の内容は予告なしに変更することがあり、また、当行、その子会社又は関連会社は、当資料を更新する義務を負っておりません。また、当資料は 著作物であり、著作権法により保護されています。当行の書面による許可なく複製又は第三者、個人顧客もしくは一般投資家への配布をすることはできません。